

## 祭礼の概要

# 蛸島キリコ祭り

【たこじまきりこまつり】

### 由来

『石川県珠洲郡誌』（1923年発行）によれば、「三大実録に貞観15年（873）8月24日、能登国従五位下高倉彦神社に従五位を授くとある。その勅使下向の際、長浜の浦に迎船を出した古例として8月10日船洗、同11日祭典及び早船の儀式、12日船囲及び直会の式等今に絶えず・・・」とあります。この8月10日から12日にかけての各行事が、現在の高倉彦神社秋季大祭になったものと考えられます。

### 開催期日

9月10日～11日

### 開催場所

高倉彦神社境内及び蛸島町内



祭礼場所までの所要時間  
■能登空港(IC)より車で約60分

※本内容は平成27年時点の情報に基づくものです。

問い合わせ先

珠洲市観光交流課

〒927-1295 珠洲市上戸町北方1-6-2

TEL 0768-82-7776



平成27年度  
日本遺産魅力発信推進事業



# 蛸島キリコ祭り



日本遺産 Japan Heritage

灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～



開催日

9月10日～11日

場所

珠洲市蛸島町



## 行事の流れ

### ● 9月10日

- 午前中 各町内の奉燈格納庫よりキリコを出し、提灯、男祭、注連縄、酒樽、御幣などを取り付ける。
- 13:00 各町内を出発し、高倉彦神社に向かい、それぞれお祓いを受ける。奉燈神楽、子どもキリコ太鼓の実演のち、キリコは各町内を巡行する。
- 18:00 各家庭では、親戚や友人、知人を招いてヨバレの宴席となる。
- 21:00 キリコ巡行。集合場所、順路は年ごとに変更する。
- 24:00 各町内に帰り解散。

### ● 9月11日

- 9:00 全キリコが神社に集合。神輿渡御に先立って、順路の道路中央に1.5mほどの間隔で点々と化粧砂(塩)をまいておく。  
太鼓山車、神輿、キリコの順に町内を巡行する。  
順路は、年ごとに変更する。
- 21:00 入宮

22:00 早船狂言

24:00 各町内に帰り解散。

※各時間はおおよその目安です。

## キリコの数、造り

大正時代までは、キリコは7本でした。(諏訪町、前浜、貝蔵、島の地、仲町、中脇、脇浜の各1本)昭和3年には貝蔵、仲町、脇が各々三区に分割し13本となり、昭和7年に今町、昭和37年に、栄町、昭和40年に旭町が参加し、16本となりました。電線がなかった時代には六間二尺(11.4m)の大きなキリコでしたが、大正時代に電線が架設されると、三間二尺(6m)に統一されました。小型化に伴い、総漆塗りで緻密な彫刻に金箔を施すなど、豪華さを競うようになりました。

## 囃子、唄

キリコ巡行の際の掛け声は「アーヨイヤサー、サカヨッサイ」。  
囃子は笛、太鼓、鉦で演奏します。奏者は笛が概ね1名、太鼓はオオバイとコバイの2名、鉦は1名が付きます。曲は動い

ている時と止まっている時の2曲があります。

## 他のキリコ祭りとの関連

キリコは本来、神輿の進路を照らすものと考えられているため、神輿の前か、前と後に供奉する形がほとんどですが、蛸島では、全て神輿の後に供奉しています。神輿の入宮が遅れることがたび重なったため、キリコを後にしたといわれています。

## 特色

キリコの担ぎ手は、神勅の猿に模して顔に白化粧をしています。神輿周辺には、数匹の獅子が舞を舞うわけでもなく、寝転がったりまとわりついたりして、巡行の邪魔をし続けます。

高倉彦神社境内で演じられる早船狂言は、石川県指定無形民俗文化財となっています。